

職員による自己評価

A 環境・体制整備

- ・スペース的に、当日利用する人数によっては狭いと感じる。
- ・職員の配置は、曜日により少ないと感じる時もある。
- ・マンションというロケーション上死角が発生するが、できる限りスタッフが散らばるようにしている。
- ・バリアフリー化については工夫しているところもあるが、安全性に不安な点もある。

B 業務改善

- ・毎月のミーティングで、振り返りや今後のことについてテーマを決め、ディスカッションを行い意見交換している。
- ・自己評価の結果をホームページ上で公開している。
- ・常勤スタッフにおいては外部研修に参加できる機会を設け、ミーティング等で広く情報提供しているが、パートスタッフに対しては研修の機会がほとんど無い。

C 適切な支援の提供

- ・月例ミーティング等において、子どもや保護者のニーズや課題について話し合い、常に記録に残している。
- ・子どもたちの特性を理解し、トラブルの無いように見守っている。また、常に個々の気持ちに寄り添い、落ち着いて過ごせるようなサポートを心掛けている。
- ・当日の支援開始前にミーティングを行うほか、情報共有ノートや個人記録ノートを活用している。

D 関係機関や保護者との連携

- ・プレップの他事業所との交流はあるが、児童クラブや児童館との交流は無いので、今後企画していきたい。
- ・学校とは利用者のスキルアップのためにも、今以上に情報共有や連絡調整を密にしていきたい。

E 保護者への説明責任等

- ・保護者の方からは喜んでいただけていると思うが、さらに内容を充実させていきたい。
- ・保護者からの相談事に対しては、管理者が丁寧に対応している。また、定期的に保護者会が開催され、保護者の困りごとやニーズを直に吸い上げている。

F 非常時等の対応

- ・食物アレルギーのある子どもについては、保護者の申し出により個々に対応している。

保護者による評価

A 環境・体制整備

- ・活動を実際に見る機会が無いため分からない部分も多いが、丁寧に状況報告してくださるので、部屋の狭さを工夫しながら有効活用されていることがうかがえる。
- ・事業所の設備面については、注意して見たことが無いため不明である。

B 適切な支援の提供

- ・様々な外出イベントや活動プログラムが組み込まれていることを評価している。

C 保護者への説明等

- ・連絡帳を通して情報交流ができています。また、何かあればすぐに電話連絡などにて対応していただけている。
- ・面談や連絡帳などで支援の内容説明はあるが、利用者負担等についての説明は契約時に行われたのみである。
- ・ホームページ上では色々発信されているようであるが、自発的に見に行くことが無いので、ホームページではこんなことを載せてますというようなお知らせがあると良い。

D 非常時等の対応

- ・何年前かに各種マニュアル等をいただいたことがあるが、忘れてしまうので毎年もらえると良い。

E 満足度

- ・制作活動やイベントなどを通して、楽しみをもって通うことができています。
- ・連絡帳を通して活動内容が分かり、漢字検定や算数検定などの学習も取り入れてくださっている。また、異学年との交流も適度に行ってくれるので大変感謝している。



事業所内での分析

【共通点】

- ・曜日によっては利用人数に差が出て、スペース的に狭さを感じることもある。
- ・連絡帳や日々の電話連絡などを通して、保護者とスタッフ間の情報共有ができています。
- ・他方面との関りや連携ができていない。

【相違点】

- ・定例ミーティングや個人記録ノート等の活用にて、利用者の情報共有やイベント関係の打ち合わせはできている。
- ・ホームページはイベントごとに更新しているが、会報などで保護者にお知らせする機会が無く、普段の活動や支援の内容については分からないといった意見が多かった。

分析・検討してみて…

事業所の強み

- ・連絡帳や個人記録ノートおよび情報共有ノートの活用により、利用者個々に対する支援が細かくできている。
- ・ホームページの活用と更新により、日々の活動内容が保護者にも徐々に伝わるようになってきた。
また、年間の季節行事に合わせた工作を行い、季節に関係なくお出かけイベントを充実させることで、利用者には季節の移り変わりを肌で実感してもらっている。

事業所の改善点

- ・保護者懇談会の定期的な実施により、保護者が抱えている悩みに寄り添い、更なるニーズの掘り起こしに役立てる。また、参加した保護者間の横の繋がりに発展させていく。
- ・毎月の会報を発行することで、プレップの活動内容をよりリアルに保護者に伝えていく。
- ・地域に貢献できる事業所として、周りの施設や自治体などとの連携が図れるようにしていく。

事業所の改善への取り組み

- ・お出かけイベントの更なる充実を目指す。また、ホームページ等の手段を活用し事業所の活動を内外に広く発信していく。
- ・地域の基幹支援センターが主催する会合に積極的に参加し、情報収集および地域との連携に繋げていく。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

- ・事業所としての弱みである地域との連携の薄さを反省し、今後は幅広く地域に根差すような活動ができることを目標とする。そして、少しでも地域に貢献できるような事業所でありたいと思う。

事業所名 プレップサポートセンター屏風ヶ浦

担当者 丹生 浩彰